

2024年3月期（第18期）第1四半期 決算説明補足資料

2023年8月10日（木）



PREMIUM WATER HOLDINGS

目次

1

2024年3月期 第1四半期 実績

2

Appendix

- (1) ビジネスモデル
- (2) SDGsへの取り組み

1

2024年3月期 第1四半期 実績

業績

- ・売上収益 20,065百万円（前年比8.4%増）
- ・営業利益 1,459百万円（前年比16.7%減）

四半期での過去最高の売上収益を達成するも、中長期的な成長に向けた投資が先行し、営業利益は一時的に減益。ただし、計画の範囲内であり、業績見通しに変更なし。

トピックス

- ・物流量は増加したが、物流効率化は進み、前年対比で配送コストは減少。
- ・成長投資としての人員拡大や、取次店への出資等含む連携深化施策により、営業力の増強に注力。
- ・資産効率改善のため投資有価証券の売却を実施。

業績の概要

堅調な顧客の積み上げにより、過去最高の売上収益を更新。

コストの見直しや取次店への出資等を含む連携強化の施策により、営業利益も改善見込み。

(百万円)

	2023年3月期 第1四半期 累計	2024年3月期 第1四半期 累計	増減	増減率
売上収益	18,505	20,065	1,560	8.4%
売上総利益	15,735	16,828	1,092	6.9%
営業利益	1,751	1,459	▲291	▲16.7%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	980	696	▲283	▲28.9%
E B I T D A (営業利益+減価償却費)	4,040	4,031	▲8	▲0.2%

業績予想に対する進捗

保有顧客数の着実な積み上げにより、売上収益は順調。

営業利益は減益となったものの、計画に対しては順調に推移。

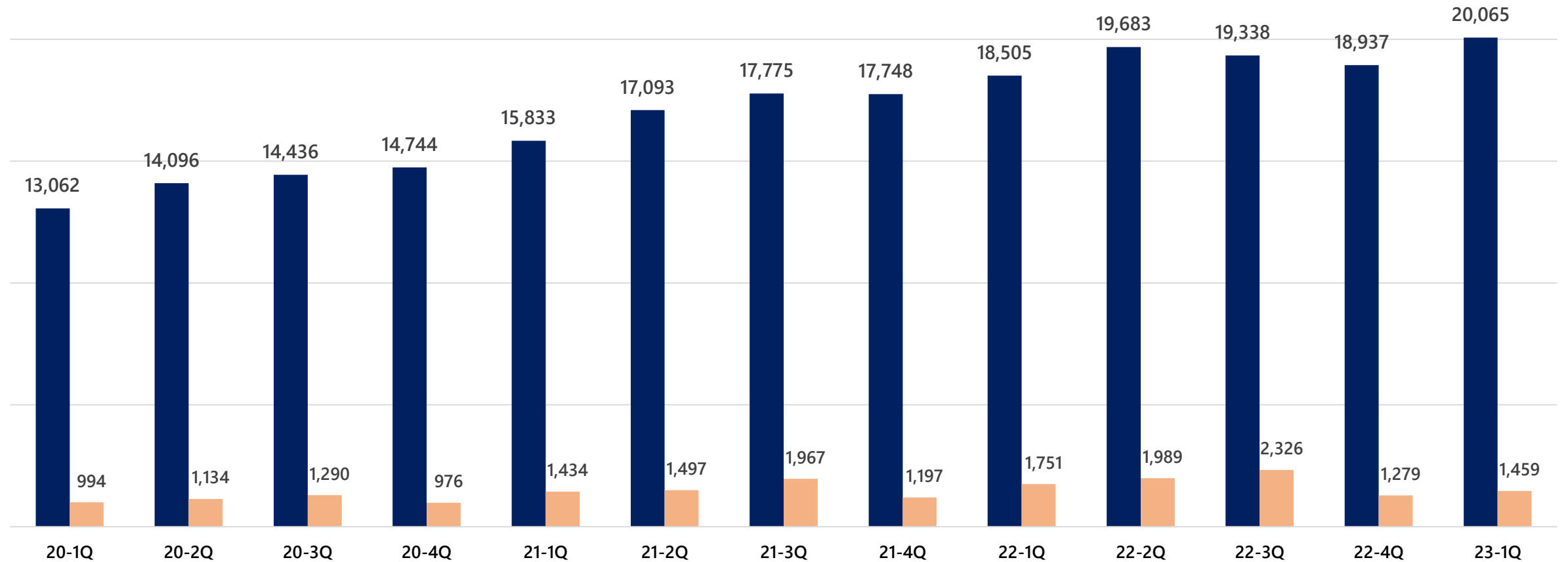
(百万円)

	2024年3月期 通期 業績予想	2024年3月期 第1四半期 累計実績	進捗率
売上収益	82,000	20,065	24.5%
営業利益	8,200	1,459	17.8%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	4,800	696	14.5%

売上収益・営業利益の推移

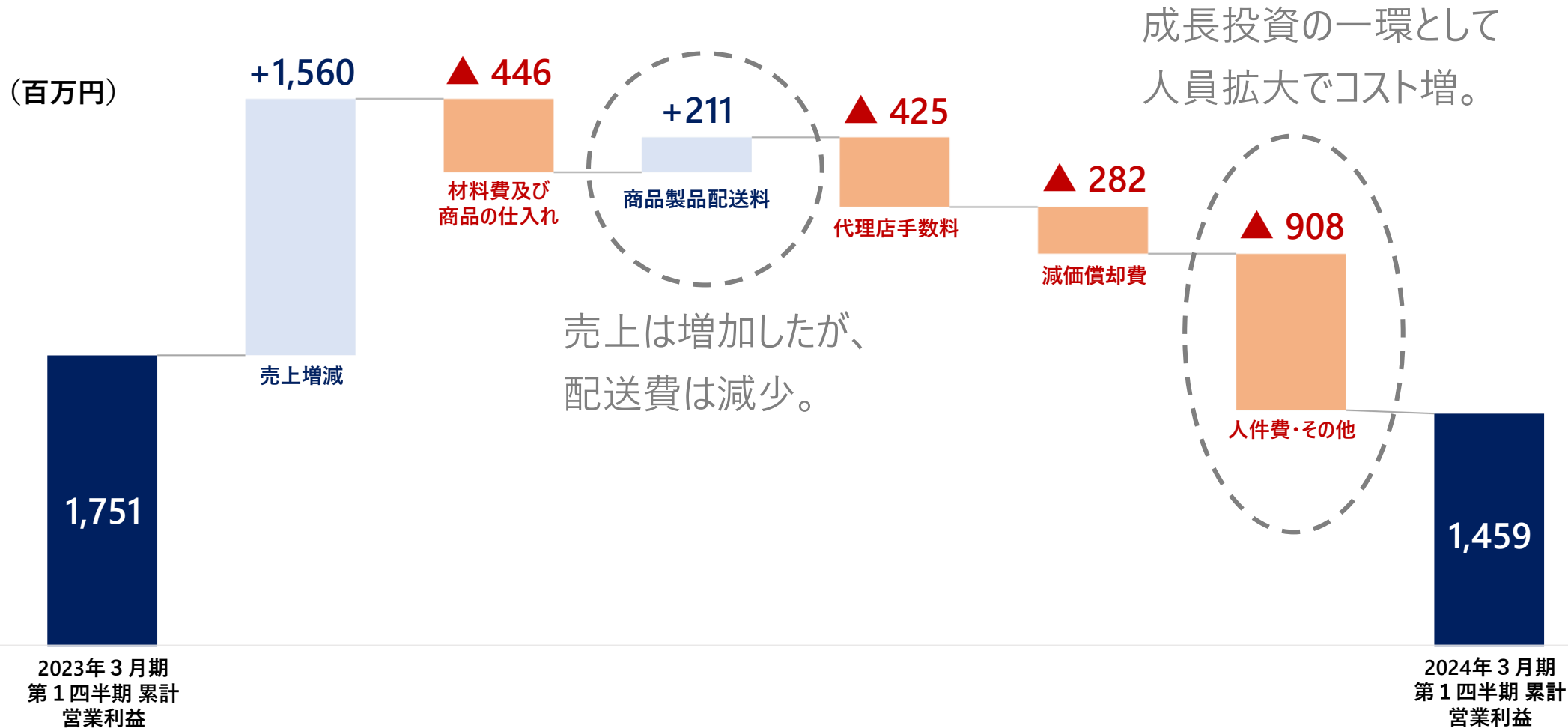
売上収益 (百万円)

営業利益 (百万円)



営業利益の増減要因

物流効率化の施策に重点的に取組み、配送費は前第1四半期から改善。
一方、人件費等の獲得コストが増加。



物流の効率化への取り組み

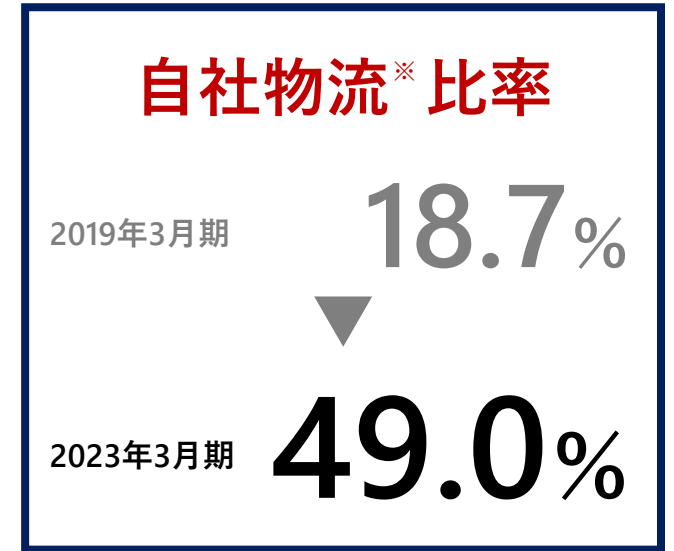
2024年物流問題 働き方改革関連法を見据え、物流費の上昇を抑えるため、数年前から自社物流*比率を向上（直近49.0%）。更なる効率化により競争優位を高める方針。



業界No.1の全国8水源から天然水を提供



大手配送業者だけでなく、それ以外の配送パートナーとの契約が可能に！



物流の効率化

※全国に物流網を持っている大手配送業者以外の配送パートナー

営業外損益

(百万円)

	2023年3月期 第1四半期 累計	2024年3月期 第1四半期 累計	増減	増減率
営業利益	1,751	1,459	▲291	▲16.7%
金融収益 + 金融費用	▲178	▲201	▲22	▲12.8%
持分法による投資損益	▲15	▲72	▲56	▲361.2%
税引前四半期利益	1,557	1,186	▲371	▲23.8%
法人所得税費用	▲577	▲489	87	15.2%
非支配持分	0.0	0.0	▲0.0	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	980	696	▲283	▲28.9%

連結貸借対照表

資産効率、資本効率を意識したBSマネジメント

- ・資産効率向上を目的に投資有価証券（未上場株 1 銘柄）の売却を実施。
- ・第 2 四半期において、第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債10億円を繰上償還予定。

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	増減
流動資産	40,562	44,121	3,559
現金及び現金同等物	25,737	29,335	3,598
営業債権及びその他の債権	8,580	9,729	1,148
棚卸資産	1,692	1,490	▲201
その他	4,551	3,565	▲986
非流動資産	46,310	46,912	601
有形固定資産	25,567	26,742	1,175
無形資産	2,411	2,475	63
契約コスト	11,488	11,402	▲86
その他	6,842	6,292	▲550
総資産	86,872	91,034	4,161

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	増減
負債	67,232	69,680	2,447
流動負債	27,612	30,864	3,252
営業債務及びその他の債務	10,762	13,815	3,052
有利子負債	14,296	15,560	1,264
その他	2,553	1,488	▲1,064
非流動負債	39,619	38,815	▲804
有利子負債	39,276	38,471	▲805
その他	343	344	1
資本	19,640	21,354	1,713
株主資本	19,623	21,337	1,713
その他	16	16	0
負債及び資本合計	86,872	91,034	4,161

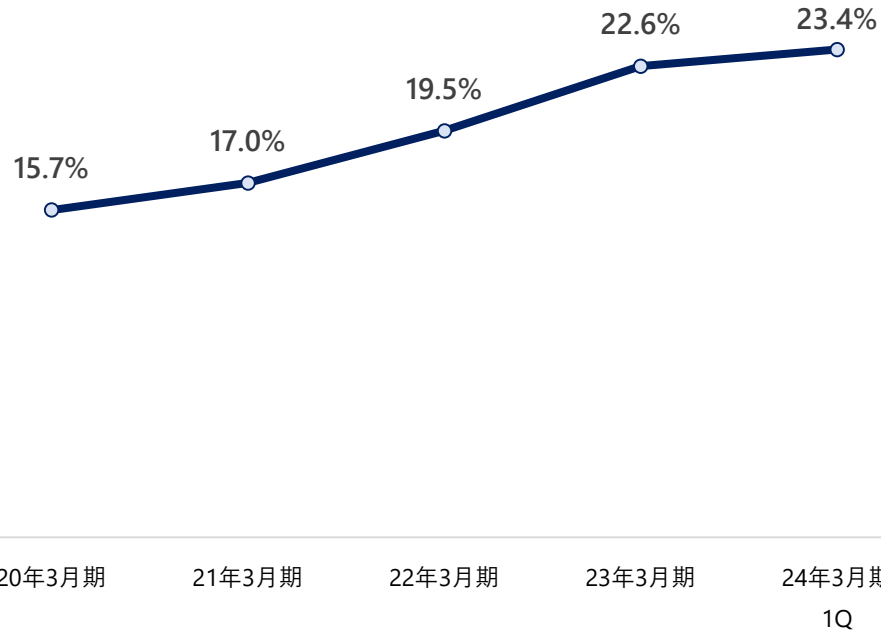
連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

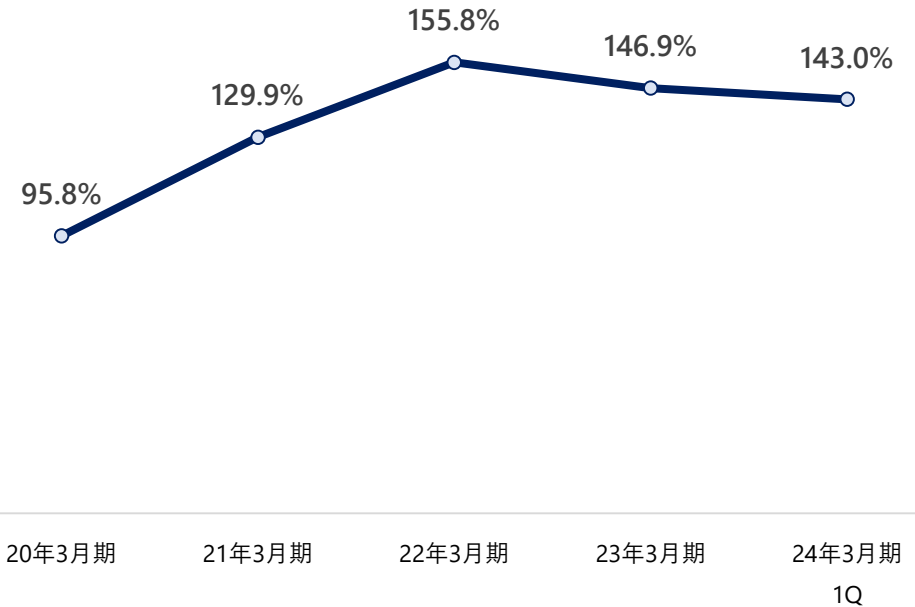
	2023年3月期 第1四半期累計	2024年3月期 第1四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,901	4,471
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲152	2,939
フリー・キャッシュ・フロー	1,749	7,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,466	▲3,829
現金及び現金同等物の期末残高	19,621	29,335

自己資本比率は引き続き、20%を超え、改善傾向。
流動比率も、安定して120%超を維持。

自己資本比率

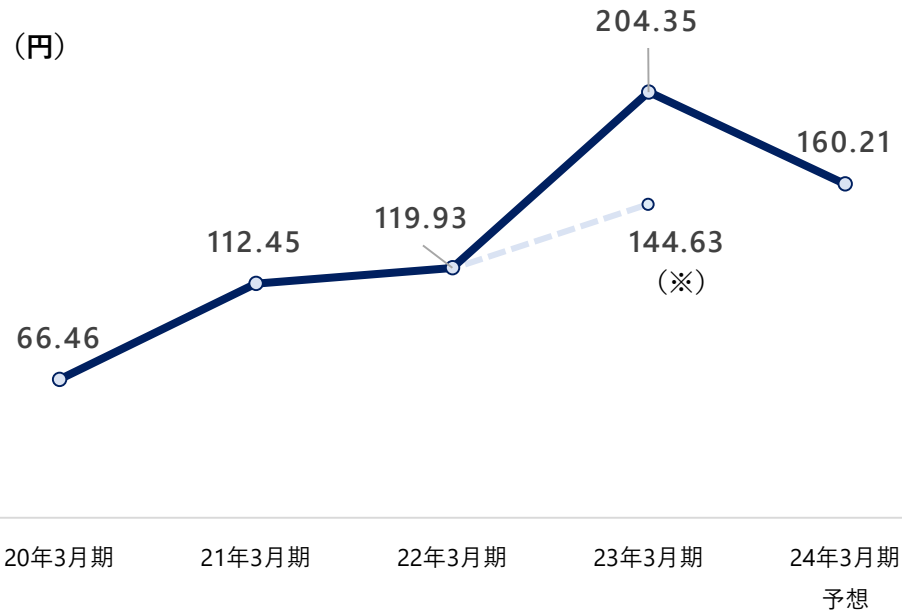


流動比率

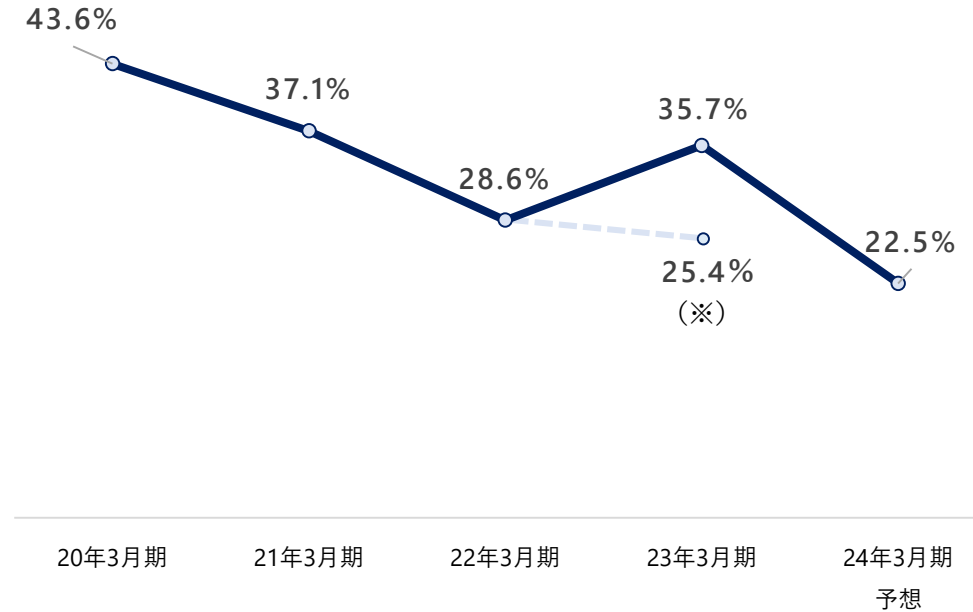


基本的 1 株当たり当期利益は、前期の特殊要因※を除いた144.63円から11.1%上昇予想。
ROEも20%を超えを維持し、安定的に高水準で推移する見込み。

基本的1株当たり当期利益 (EPS)



ROE



※2023年3月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。

2

Appendix

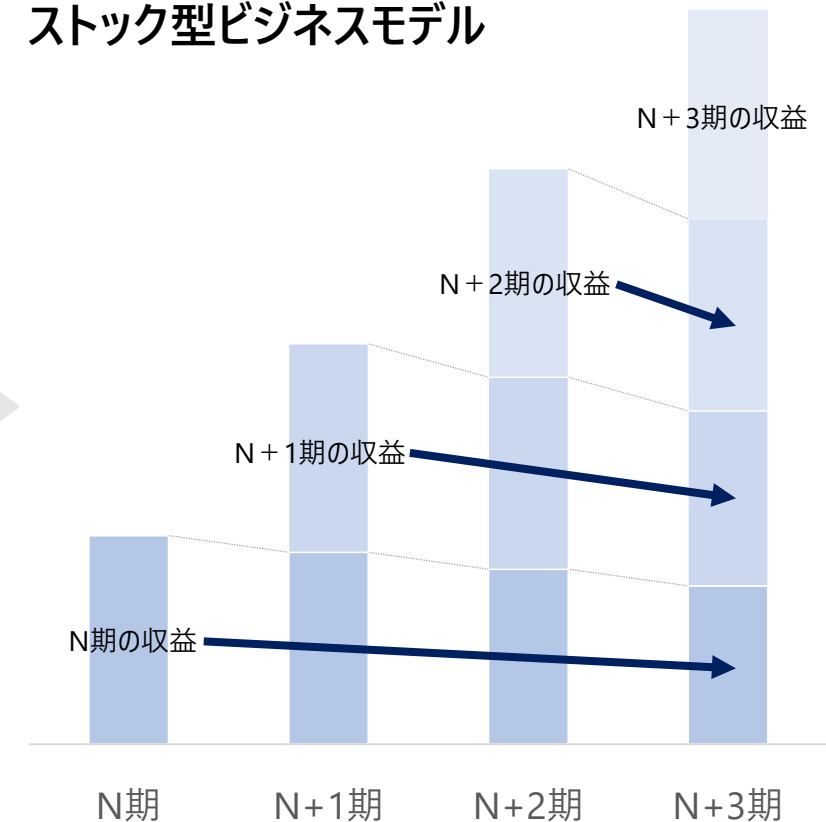
(1) ビジネスモデル

ストック型ビジネスモデル

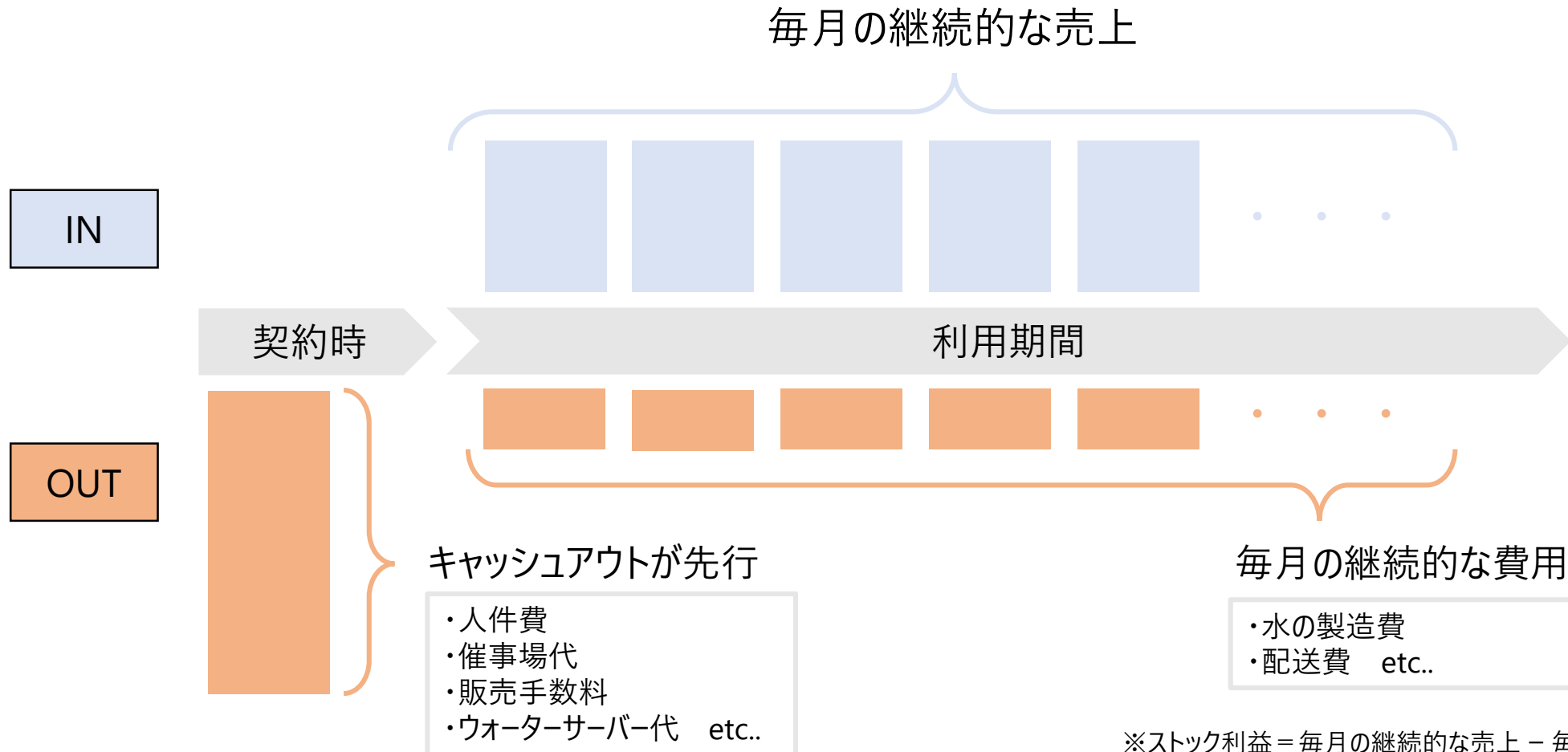
顧客の増加により、確実に収益増加が見込める
安定性の高いビジネスモデル。



ストック型ビジネスモデル



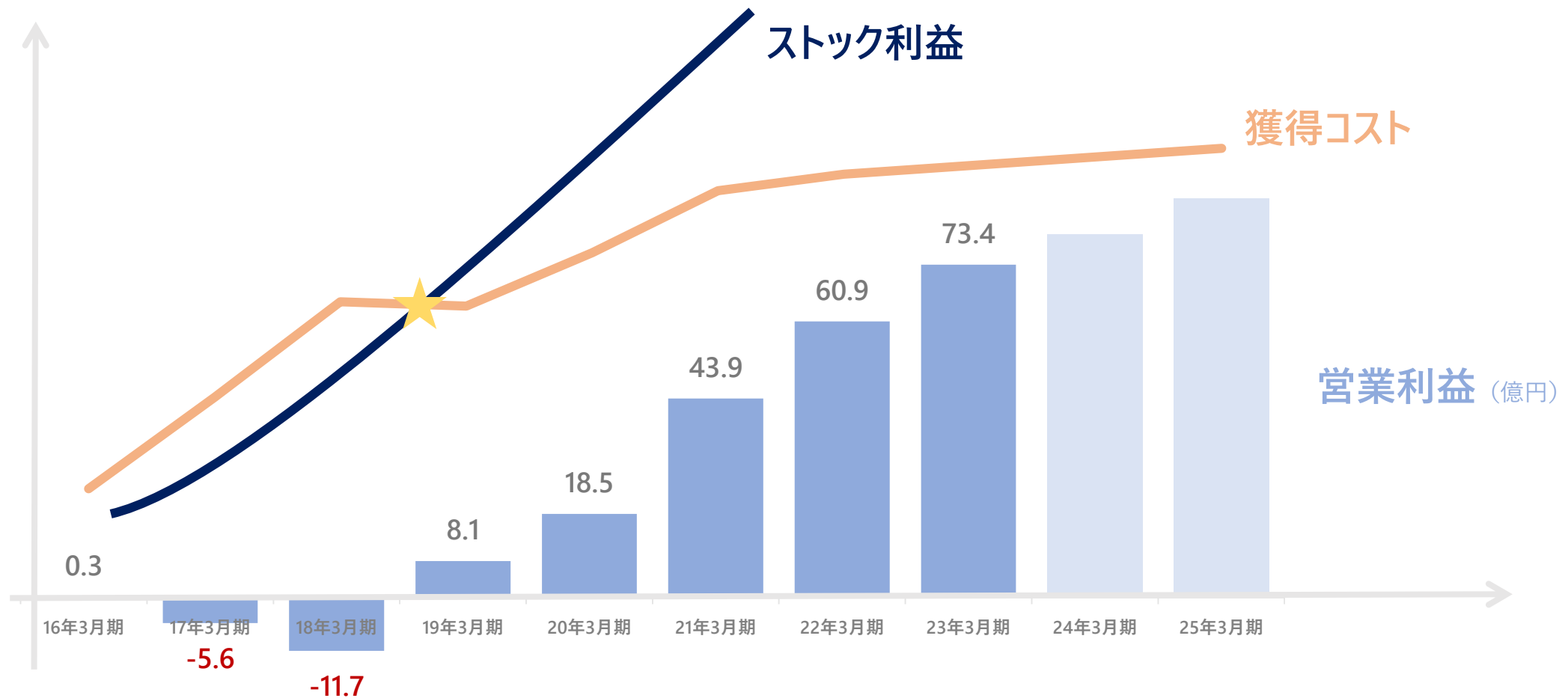
獲得のための人件費やウォーターサーバー代等、キャッシュアウトが先行。
毎月の継続的なストック利益※により、長期的に回収していくモデル。



※ストック利益 = 毎月の継続的な売上 - 毎月の継続的な費用

成長イメージ

順調なストック利益の積み上げにより、2019年3月期より黒字化。
今後もストック利益は積み上げられていく。





Appendix

(2) SDGsへの取り組み

当社のSDGsへの取り組み

こども食堂へのお米寄付



貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

小学校での出張授業



小学校から行われるキャリア教育の一環として出張授業を実施しています。天然水を取り扱う企業だからこそ伝えられる「お水や自然の大切さ」と「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」を子どもたちに自由な発想で考えていただきます。

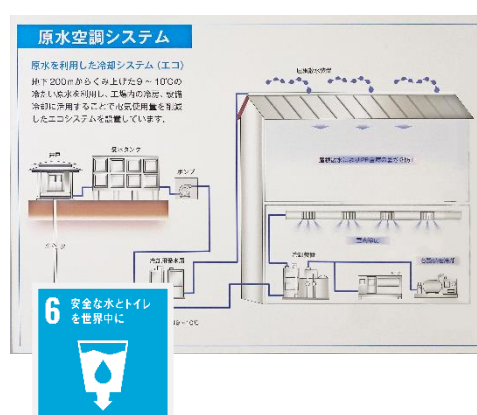
災害時の支援・復興サポート



山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と「災害時における飲料水の供給に関する協定」を締結しており、災害発生時に被災者に飲料水の提供が必要となった場合、無償供給およびサーバーの無償貸与を行います。

他にも、西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、熊本地震における義援金寄付、熊本復興支援イベントの開催等も行っています。

地下水の利用



富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた9度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

安心安全のナチュラルミネラルウォーター



同社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射線物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

PETボトルの軽量化



PETボトルの構造を変更し、従来より20%軽量化（プラスチック使用量削減）したボトルに順次入れ替え、2020年4月現在全水源の97%で軽量化を実施済みです。

公平な人事制度・ジェンダー平等への取り組み



人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

森林整備活動（西桂地区）



地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が、良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。

1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

<お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングス IR担当

メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp



PREMIUM WATER
HOLDINGS